



藤原 江里
2016年入社

大学で農業土木（主に水理水文）を学び、約7年間、地盤改良工の技術者として従事しました。その後転職し、建設環境分野にて河川の自然再生事業や地域連携の活動に従事し、2018年5月から道路環境調査にも携わっています。

・建設業を選んだ理由

初めは環境分野にしか興味がありませんでしたが、大学の先生から「環境を学ぶには工学も必要」の一言に衝撃を受け、善は急げとさっさと工学へと転身。学ぶにつれ気づいたことは、環境と建設は切っても切れない関係だということでした。環境を深く学ぶには、建設業にも精通しなければならないと思い、建設業に入ることを決意しました。

・現場での役割

現場では、生活環境の調査を担当しています。振動や騒音の状況、排気ガスの流れなどを調査し住民に影響がないか評価します。工事が始まると、一番気にかかるのは近隣住民への配慮です。調査の際は、近隣住民にひとつひとつ丁寧に説明し理解を求めることも重要なお仕事です。

・未来をつくる若手・女性技術者の皆様へ

若手だろうと女性だろうと、必ずしもパイオニアを目指す必要はありません。できることとできないことを見定め、周りと話し合い、積み重ねていくうちにできることが増えていきます。選択肢を狭めることなく、自分らしく働ける場を見つけてください。



<業務概要>

一般国道19号桜沢地区・藪原地区の道路整備において、環境に与える影響を把握するため、動植物調査・生活環境調査を行っています。また、工事中の環境モニタリングとして、水文調査や貴重動植物の保全対策も行っています。

